

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月28日

事業所名 Wa

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		パーテーションで区切っている	
	2	職員の配置数は適切である	5		送迎・活動・見守りをする職員に分かれている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5		危険なところは虐待防止委員会でチェックしている。手摺、スロープを設置している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		職員全員が参加している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		年度末にアンケートを実施している。アンケート結果をもとに改善に努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		ホームページに公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5			
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		年に数回それぞれ研修をうけている。また月1回他事業所との合同研修に参加している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		全職員で会議を行ない計画の作成をしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		アセスメントツールを使用し子どもの状況を客観的に把握、判断できるようにしている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		子どもの状況に合わせて話し合い、プログラムの内容の変更や工夫を加えている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		スモールステップでステップアップ出来るように新しい内容も取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		長期休暇でしかできない活動なども取り入れて支援している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		子どもの理解度や状態に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		支援記録をもとに振り返り、支援の改善につなげている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		定期的に見直し会議を行なっている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		児発管が参加。他職員にも聞き取りを行なっている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1	送迎時間、子どもの状況に合わせて学校訪問、情報共有、授業見学を行なっている。学校と事業所の関係をもう少し密にしていける必要があると思う。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4	かかりつけ医、服薬状況などの把握を行なっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5		状況に応じて子ども園、事業所に訪問し情報共有を行なっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5		子ども支援部会に毎回参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		送迎時や電話、事業所内相談等で情報共有している。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5		グループ、個人、父のみなどでペアトレを行なっている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時に説明を行なっている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		その都度、話を傾聴し必要な助言を行なっている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	親子で参加し家族同士が交流できる行事を計画し行なっている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		苦情マニュアル、フローチャートを作成しそれによって迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	毎月の予定を配布している。写真を入れて会報等を発行してもいいのかもしれない。
	35	個人情報に十分注意している	5		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		分かりやすい言葉や手段で説明や話をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	1年に1回保護者総会の時に配布している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		毎月避難訓練を行なっている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		合同研修の中で虐待防止研修や委員会を設置している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		身体拘束適正委員会の中で検討し事業所として決定したことを保護者に説明、了解を得ている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		保護者から聞き取りを行ないアレルギー結果を提出していただき除去している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		事業所内のヒヤリハットの案件について共有、改善に努めている。	